

# HIC通信



2017年留学大使の紅葉狩り



## 目次

- |                               |                                                                |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| P2 多文化共生<br>イスラム教への正しい理解      | P9 研修部下半期の<br>イベント告知                                           |
| P5 HIC医療通訳ボランティア<br>派遣事業の概要   | P10 コラム<br>Hello Hiroshima<br>イベント・講座案内<br>Upcoming Event News |
| P6 事業報告<br>交流部<br>留学生活躍支援センター | P11 JICALレポート<br>こちら JICA デスク                                  |
| P8 新しい国際交流員紹介                 |                                                                |

バセムさんに聞く!

# イスラム教人の正しい理解 その1

現在、全世界に16億人以上のイスラム教徒（ムスリム）がいると言われています。中東に暮らすムスリムはほんの一部にとどまります。世界最大のイスラム人口を持つ国がインドネシアで、人口2億5千万人のうち9割近くの2億2千万人がムスリムです。世界のムスリムの半数以上はアジアに暮らしており、パキスタン、バングラデシュ、インドなどが多くの人口を抱えますが、ヨーロッパに4千万人以上、中国にも2千万人以上が暮らしているなど全世界に広がりを見せています。 ※出展：一般社団法人ハラル・ジャパンHP  
広島県内にも約2,000人程度イスラム教徒が暮らしています。

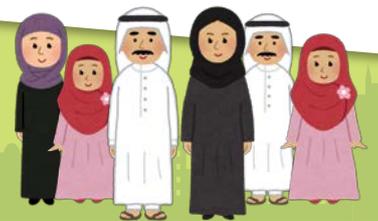
日本人は日頃の生活の中で、宗教に密接に関わりをもって生活する人は限られており、あまり意識せずにいろいろな宗教の行事に関わりをもってしています。

日本人にとってイスラム教はなじみが薄く、残念ながら「怖い」とか、「おそろしい」というイメージを持っている人も少なからずいます。

今日は、シリア出身で在日20年以上の、一般社団法人広島イスラム文化センターを設立されたアブドゥラ・バセムさんにお話しをお伺いします。



一般社団法人広島イスラム文化センターを設立された  
アブドゥラ・バセムさん



(はじめに)

○バセムさんはシリア出身とのことですが、今どのような状態にあるかご存知ですか。

→2010年8月頃帰って以降は戻っていません。戦争が始まるまでは安全な場所でしたが、戦争が始まってからは、皆は考える事を止めておりとても危険です。

○バセムさんは日本に20年以上住まれているとのことですが、日本に来られ、定住されたきっかけは何でしょう。

→元々は、九州大学へ留学生として来日しました。大学院を卒業後、広島工業大学の建設工学科の講師として広島に来ました。広島工業大学で5年ぐらい勤めた後、東京で耐震補強の会社を起業しました。少し歳をとってから広島に戻りたくなり、新しく広島に別の会社を立ち上げて戻ってきました。

(イスラム文化センターについて)

○バセムさんは、東広島市にある広島イスラム文化センターを設立されたそうですが、それはどのようなきっかけですか。

→来日した1995年頃には西日本には神戸以外にはイスラム教の文化センターや教会がありませんでした。1996年頃まで

は留学生もあまりいませんでしたが、日本政府の方針もあり徐々に大きな大学を中心にイスラム教の留学生も増えてきました。しかし、当時はお祈りの場所もなく困っていましたが、最初に九州大学の隣に礼拝堂を作ろうとしましたが、留学生は建築には素人のため、日本の法律等が理解できないことが壁になり前に進みませんでした。そこで留学生でしたが建築関係を学んでいた私のところに話が来て福岡に教会を作ることに携わりました。

広島に移住して来たときに、広島でも同じ様な問題がある



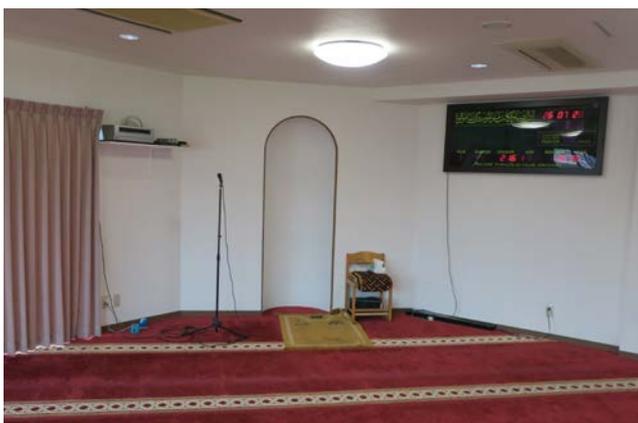


ことが分かりました。福岡の場合にはアラブ首長国連邦(UAE)から教会建設の寄付があり新築の立派な教会を建てることができました。しかし、広島の場合にはそういった寄付もないので、新築の教会や文化センターを建てるにはお金が足りませんでした。そこで安価に購入できる裁判の入札物件を探して今の広島イスラム文化センターの建物なら、広島大の近くでイスラム系の留学生も多いし、リフォームすれば教会として利用できると考え入札に参加し購入しました。2012年12月に建物のリフォームが完成しました。

東広島市に建てたのは、日本全国のイスラム教徒(約10万人)の約9割は留学生なので、大学の近くに礼拝堂を作らないと一番多い留学生がお祈りをできないので広島大学の近くに建てました。広島市の広島大付属病院の近くにも、3年ぐらい前に小さな礼拝設備を作りました。

#### ○広島イスラム文化センターはどのような施設・設備がありますか。

→1階は店舗として賃貸し、2階と3階は広島大学のイスラム系学生の住居として賃貸しています。4階と5階は教会として利用しています。4階と5階の教会は無料で開放していますが、教会を維持するためには維持費が必要ですので、1階から3階までを賃貸として、その費用で4階と5階の維持管理する仕組みのために、一般社団法人広島イスラム文化センターとして法人を設立しました。



#### (イスラム教について)

#### ○イスラム教徒にとってイスラム教はどのような存在でしょうか。

→イスラム教は生活と一体になっており、朝起きて夜寝るまで食事をすることも仕事も全てが宗教と関わっており分離することはできません。

#### ○イスラム教の1日5回のお祈りはいつ頃行うのでしょうか。お

#### 祈りにはどのような意味がありますか。

→イスラム教では人間も動物も神様が作ったものとされ、神様との縁を強くするために毎日5回神様とお会いして、神様を仰ぐためにお祈りを行っています。ただ、お祈りをする時間が厳密に決まっているわけではありません。例えばお昼のお祈りは12時から15時の間にすればいいのです。日本人には多いと感じるかもしれませんが、1回当たりのお祈りの時間は2~3分です。タバコを吸う方ならタバコを吸う時間と変わりはありません。

#### ○ラマダーンについてお聞きします。1年のいつ頃がラマダーンに当たりますか。

→年に1回、1か月行います。西暦とイスラム暦で11日のずれがあるので、毎年開始時期が変わってきます。今年は5月17日から始まりましたが、来年は5月3日ぐらいになります。同じ時期にラマダーンが戻るには33年かかります。

#### ○ラマダーンは断食の時期なので、何も食べないと思っている人がいます。また、ラマダーンは、どのような行事でどのような意味がありますか。

→朝、日が明けてから夜に日が沈むまでの間は、何も食べないし水も飲みませんが、夜は食事や水も飲みます。ラマダーンの時期は昼間には何も食べないし飲まないで、お腹も空くし喉も乾きます。お金があればお腹が空いたらコンビニへでも行けば直ぐに何でも食べたり、飲んだりできますが、お金のない人はそれでもできません。そんな人たちの気持ちを分かり理解する意味があります。普段当たり前のことが、当たり前でないことを思い出させるためです。人間は直ぐに忘れてしまうので年に1回思い出ししています。

ただし、全員が必ずラマダーンをしなければいけないものではありません。例えば病気の人や女性の場合には妊娠中の人は食べないと赤ちゃんに影響が出ます。また、旅行や出張の人も対象外にできます。これは昔ラクダに乗って砂漠を横断するのに水を飲めないと死んでしまう恐れがありました。ただ単に厳しいだけではありません。

#### ○日本に住んでいるイスラム教の方もラマダーンをされていますか。

→私の知っている方はしています。今年は5月がラマダーンの月になりましたが、この時期は運動会の時期に重なり、学生はグラウンドで水を飲みながら練習をするため、できるだけ参加させないように学校に依頼しました。しかし、学校が本人に話をしたら「私はチームで練習しているので宗教的にやらないというのはおかしい」

と続けた子がいました。

今年是一般の方に広島イスラム協会でのラマダンの1日体験の募集をしました。

○イスラム教徒の女性は、ヒジャブ（※イスラム教徒の女性が頭や身体を覆う布）を被る習慣がありますが、どのような意味がありますか。

→イスラム教では女性は「宝物」と思っています。宝物を「私は宝物を持っています。」と見せびらかさないでしょう。それと同じ考え方なんです。一年中被っていますが勿論生地は夏用、冬用で違います。

○イスラム教徒の女性でもヒジャブを被っていない方もいらっしゃいますが、国によって考え方が違うのでしょうか。

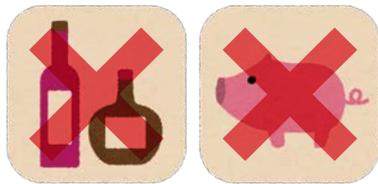
→宗教は個人のもので、厳格に守っている方や簡略化されている方もおられます。それでもイスラム教徒には違いありません。

○イスラム教では、男性と女性は同じ場所にはいけないのでしょうか。

→宗教的にはそういうことはあるんですが、実際にははっきりそうっていません。大学や職場ではどうしても一緒にいます。礼拝の時には男性と女性を別々に分けています。時間は一緒でも場所は分けています。例えば広島イスラム文化センターでは、4階は男性、5階は女性専用になっています。

○イスラム教徒の方は、豚肉やアルコールがダメだとか、ハラール（※イスラム法上で食べることが許されている食材や料理を指す。）料理のみということをお聞きしますが、どのような食事をされていますか。

→イスラム教では豚肉やアルコールはだめですが、少し前まではハラール料理という言葉は日



本にはありませんでした。あまり経済と宗教を一緒にするのは良くないことですが、現在、日本では経済面からインドネシアやマレーシア、サウジアラビア等のイスラム圏に食料を輸出するためにはハラール認証が必要になってきました。また、海外からの旅行者を増やしたり東京オリンピックに向けて、イスラム系の観光客を呼び込むためにハラール料理がないと興味が薄れ、他に行ってしまうかもしれません。ただ、本当にハラール認証が必要かというところでもないと思います。昔はハラール認証はなかったし、全てのレストランにハラール認証があるわけではない

ので、私は食材の中身を確認してから注文しています。

○日本にもインドネシアとかマレーシアなどイスラム教徒の方は多く、定住されている方は子供さんが学校に通ったりされていると思いますが、日本の学校ではお祈りとか、給食はどのようにされているのでしょうか。

→子供が通った学校は、私の子供が初めてのイスラム系の子供だったので最初は色々ありましたが、徐々にわかってもらえました。例えば給食センターから各学校に給食が配られるので、私の子供だけ変えてもらうことはできませんでした。そのためアレルギー体質の子供と同様に、事前に給食の献立を送ってもらい、豚肉やウインナー等がある日はそれに代わる料理だけ持参させました。ご飯や牛乳など食べても良いものは、そのまま食べさせることで、他の子供たちとの違和感をなくすようにしました。お祈りは15時までには帰ってくるので、自宅でしていました。

○日本の企業に就職されたり、技能実習で来られている方もいると思いますが、会社内や生活面で困ったり不便な点がありますか。

→色々あると思います。例えば小さい会社だとお祈りするスペースがないとか、会社生活をしていると、飲み会や食事会をする機会が多くあります。私はこういう場を通してコミュニケーションを取るために参加していますが、あまり経験のない人は「何で2時間も人が酒を飲むのに付き合わなければいけないのか」と思う人もいます。

○お祈りをするために必要なものは何ですか。

→特に必要な物はありません。畳1枚ぐらいのスペースがあればOKです。

○イスラム教徒にとって日本は生活しやすい国でしょうか。不自由な点はどこですか。

→どこに住んでもメリットもデメリットもあるので、メリットだけを考えると暮らすことが大切です。

○日本でイスラム教徒が安心して暮らせるよう、イスラム教徒の方は、我々日本人に対してどのような配慮を望まれますか。

→他の外国人も一緒ですが、顔は外国人でも心は日本人以上に日本人な外国人もたくさんいます。初めて会う日本人は、私に「日本語がお上手ですね」とよく言われます。私は24年前から日本に暮らしていますし、子供も日本の学校を卒業しているのに、見た目だけで判断するのはやめた方が良いでしょう。

# HIC医療通訳ボランティア派遣事業の概要



県内で暮らしている外国人は、平成30年6月末現在、約50,000人（法務省統計）で、毎年増加傾向にあることから、公益財団法人ひろしま国際センター（以下「HIC」という。）は、日本語に習熟していない外国人住民等の皆さんが、安心して医療・保健サービスを受けられるよう、医療機関及び保健機関（以下「医療機関等」という。）に医療通訳ボランティアを派遣します。

## 1 対応言語

英語、中国語、ベトナム語、タガログ語、スペイン語

## 2 対応時間

原則として、1回につき概ね2時間程度を目途とし、医療機関等の診療（検診等）時間内（概ね午前9時から午後8時まで）とします。

## 3 通訳内容（ボランティアの活動範囲）

受付、診察、検査、会計、病室、薬局など

※院外薬局（概ね100m以内）への同行は通訳範囲に含めます。  
※インフォームド・コンセントのような高度医療における通訳は、原則として対応しません。

## 4 通訳の派遣依頼者及び派遣先

HIC医療通訳ボランティア派遣事業の趣旨等に賛同する医療機関等

※外国人住民等の個人からの派遣依頼は受け付けません。  
※医療通訳ボランティアの都合がつかない場合は、依頼の日時に派遣できない場合もあります。

## 5 依頼手続き

- ①患者や保健サービスを受ける者である外国人住民等の同意が必要です。
- ②派遣日の5日前（HICの休日を除く）までに、派遣依頼書をHICへ提出。緊急の場合でも、可能な範囲で対応します。

## 6 派遣するボランティア

HIC医療通訳ボランティア派遣事業の趣旨に賛同し、HIC医療通訳養成研修（約20時間）を受講し、所定の考査に合格した者で、所定の考査合格後もHICスキルアップ研修に参加するなど、医療通訳ボランティアとしての自覚を持ち、公平な通訳を行うことができます。

## 7 通訳派遣に係る費用

派遣依頼者は、次の額を負担します。なお、医療通訳ボランティアへの費用の支払いは、HICが行います。

### 医療通訳ボランティアに対する協力金

1回当たり2,000円とする。なお、医療機関等における活動時間が2時間を超える場合は、1時間毎に1,500円を加算する。

### 医療通訳ボランティアの交通費相当額

派遣先医療機関等が医療通訳ボランティアの居住地と同一の市（町）である場合は、1,000円。なお、派遣先医療機関等が医療通訳ボランティアの居住地と異なる市（町）である場合は、実費を基本としてHICと派遣依頼者が協議し額を定める。

※実証運用期間中は、HICが費用の全額を負担します。

## 8 賠償の責任

医療通訳ボランティアの通訳過誤等の医療通訳について、HICは、派遣依頼者に対して賠償の責任を負わないものとし、派遣依頼者（公立等の公的保健機関は除く。）は、賠償責任保険に加入し、当該過誤等について担保できることを条件とします。また、医療通訳ボランティアの通訳過誤等の医療通訳について、HIC及び派遣依頼者は医療通訳ボランティアに対して賠償請求しません。

## 9 派遣事業の運用開始の時期と派遣対象機関

平成30年11月27日から、広島市内（保健機関は廿日市市内も対象）の医療機関等に対し、実証運用を実施します。

※正式運用は、平成31年4月1日から、県内全域の医療機関等に対して実施する予定です。

交流部

## Report 1 平成30年度 留学生奨学金の奨学生が決定しました!

当センターでは、県内の大学等に在籍する外国人私費留学生を対象に、留学生の勉学生活の安定等を目的とした奨学金支給事業を行っております。

今年度は、企業等協力留学生奨学金48名、県民支援留学生奨学金2名、センター留学生奨学金3名、渡日等留学生支援に係る奨学金20名（予定含む）の計73名に奨学金を支給いたします。

奨学金支給事業は、企業・団体の皆様、県民の皆様の温かいご支援により支えられております。ご寄附をいただきました皆様へ心より御礼申し上げます。

### 平成30年度 企業等協力奨学金支援企業・団体の皆様

株式会社大創産業  
マツダ株式会社  
一般財団法人多山報恩会  
株式会社広島銀行  
株式会社あじかん  
株式会社アスティ  
株式会社ウッドワン  
賀茂鶴酒造株式会社  
カルビー株式会社 広島工場  
国際ソロプチミスト広島

株式会社シンギ  
株式会社第一学習社  
ダイキョーニシカワ株式会社  
株式会社中国新聞社  
中国電力株式会社  
株式会社中電工  
株式会社東洋シート  
南条装備工業株式会社  
西川ゴム工業株式会社  
広島ガス株式会社

一般財団法人広島国際文化財団  
広島信用金庫  
広島電鉄株式会社  
株式会社広島東洋カーブ  
株式会社プロバホールディングス  
株式会社マツダE&T  
マツダエース株式会社  
マツダロジスティクス株式会社  
三島食品株式会社  
株式会社もみじ銀行

株式会社モルテン  
医療法人社団ヤマナ会  
株式会社いとや  
株式会社中国放送  
株式会社テレビ新広島  
一般社団法人広島県医師会  
広島テレビ放送株式会社  
株式会社広島ホームテレビ  
株式会社福屋  
(39企業・団体/口数順・50音順)



25年

カルビー株式会社 広島工場  
広島信用金庫

15年

一般社団法人広島県医師会 株式会社マツダE&T  
マツダエース株式会社 マツダロジスティクス株式会社

10年

株式会社大創産業

交流部

## Report 2 「平成30年度 ひろしま国際交流サミット総会・交流会」を開催

6月26日（火）「平成30年度 ひろしま国際交流サミット総会及び交流会」を開催しました。

この「ひろしま国際交流サミット」は、多文化共生社会支援事業の一環として、広島県内の国際交流・協力団体やNGO・ボランティアグループ等の情報交換・活動促進と相互連携を図ることを目的として、平成元年（1898年）11月に結成し運営しているものです。（H30.3月末現在159団体加盟）

年1回開催する総会の中で講演会を実施しており、今回は、ジャーナリストのモーリー・ロバートソン氏をお迎えし、ご講演いただきました。

モーリー・ロバートソン氏の講演は、「おもてなしからオトモダチへ」と題して、今インバウンドで日本がめまぐるしく変わっていく中で日本はどのように順応していくべきなのかをお話いただきました。また、同氏はお父様の仕事の関係で広島に在住されており、修道中・高にも一時在学されておりました。

講演会の後は「ひろしま国際交流・貢献 親睦の集い」を開催し、サミット会員間の懇親および情報交換会を実施しました。



## Report 3 「平成30年度第1回 外国人留学生合同企業説明会」を開催しました

9月7日（金）に、広島市留学生会館にて、広島県内での就職を考えている外国人留学生のための合同企業説明会を開催しました。当日は、県内企業31社がブース出展、8社が資料コーナーに参加し、広島、山口、岡山の大学等から約120名の留学生が参加しました。中国やベトナムを中心に約10ヶ国から参加した留学生は、緊張した面持ちで企業からの説明に熱心に耳を傾けていました。次回は、平成31年3月9日（土）に国際会議場で開催する予定です。



### 留学生活躍支援センター

## Report 4 進学説明会を開催しました!

8月29日（水）に広島で、日本語学校生向けの合同進学説明会を開催しました。広島県内の日本語学校で学ぶ留学生に、県内の大学を知ってもらうために毎年開催しています。主に中国、ベトナムの約70名の留学生に会場いただきました。各大学のブースでは現在大学で学んでいる先輩留学生が、母語を用いながらアドバイスする場面もありました。

来年、みなさんと広島県の大学で再会できることを楽しみにしています!



### 留学生活躍支援センター

## Report 5 企業見学ツアーを開催しました

7月21日（土）、特別養護老人ホームくちた園（サカグループ）を見学に行きました。平成29年9月から在留資格に介護が創設され、外国人就労においても介護業界は大変注目をされています。

当日は留学生9名が参加し、介護業界についての説明を受けた後、施設の中を隔々まで見学させていただきました。入浴介助のシミュレーションや、施設で作られている食事の試食、入居者の方と一緒にレクリエーションや健康体操も体験させていただきました。

特別養護老人ホームくちた園の皆様、ありがとうございました。



食べやすいように調理された食事



ベッドからストレッチャーへの移乗介助の様子



レクリエーションの様子

新しい **国際  
交流員  
紹介**

**ロドリゲス・ホルヘ**さん (メキシコ出身)

Hola!メキシコから来た、ロドリゲス・ホルヘと申します、ムチョ・グスト！（どうぞよろしくお願いします！）

8月から広島県国際課で、国際交流員として勤めています。

日本とメキシコは交流を始めてから400年以上となり、そしてさらに広島とメキシコのグアナファト州が友好提携を結んで

から4周年になりました。

そこで、広島県で行われているメキシコと関係あるイベントや事業に力になればと思っています。それに、メキシコから南米までほとんどの国でスペイン語が話され、スペイン語とラテン文化を共通点とし、広島でますますメキシコについて、そしてラテンの心を紹介できればと思います。皆さんのご協力を心より期待していますので、ボル・ファボール！（よろしくお願いします！）

私は大学時代に日本語を学び始めました。大学の勉強と同時に、日本語の専門学校に入学し、最初の一年半は毎日朝7時からの1時間半の授業を受けていました。夜型なので、正直言うと朝7時から外国語を毎日勉強することは考えてなかったのですが、日本語学校の毎日のグループはその時間しかなかったので努力して入りました。当時は、日本文化にとっても興味があったのに対し、日本語の知識はほぼゼロでした。

実は、日本語を真剣に勉強しよう！というきっかけは、音楽でし

た。大学生時代のある日、ネットで世界の音楽や楽器について検索していたときに、偶然日本民謡に出会いました。初めて聞いたのはソーラン節でした。お囃子を聞いた瞬間にとりこになりました。そして三味線の音色は当時まで聞いたことのあった他の音と違い、興味深いジャンルでした。その時から邦楽について検索したり、日本の伝統音楽の様々なジャンルを聴いたりしていました。

将来日本で伝統音楽を勉強したい！と思い、日本語を勉強し始めました。

6年前初めて日本に来ることができ、筑波大学に留学し、津軽三味線の先生に出会いました。帰国したら、毎年休みを先生の合宿に合わせ、日本に来ていました。

母国では国際交流基金で文化芸術担当として勤め、憧れている日本のアーティストや芸術家に会い、とても勉強になった仕事でした。

昔から日本に移住し仕事したかったのですが、なかなかいい方法が見つけれませんでした。

ところが、外務省が応援しているJETプログラムが今年メキシコ人の募集をし、応募したら選ばれました！平和都市である広島市、そしてメキシコと強い友好提携を結んでいる広島県で働けるのは夢のようです。

実際にかけ橋になれるように一生懸命頑張ります！よろしくお願いします！



いつか世界を変える力になる。  
**シニア海外ボランティア  
青年海外協力隊**

秋募集  
応募期間  
**10/1 ~ 11/1**  
月 木

**体験談 & 説明会 日程**

**10/13 土**  
呉市役所  
呉市国際交流センター (呉市)

映画上映 **13:30 ~ 15:20**

「Gid Rising ~私が決める、私の未来~」※入場無料  
(日本語字幕:プラン・インターナショナル)  
途上国の少女たちが直面する状況や彼女たちが持つ可能性が描かれた映画です。

体験談発表 **15:30 ~ 16:00**

**10/14 日**  
まなびの館ローズコム  
小会議室4 (福山市)

**14:00 ~ 16:00**

青年・シニア合同

**10/17 水**  
広島大学  
学生プラザ1階 (東広島市)

**18:00 ~ 19:30**

青年

**10/20 土**  
TKP広島平和大通り  
カンファレンスセンター  
ミーティングルームB1C (広島市)

こちらの会場は事前予約制です。  
※予約はJICAボランティアHPから

**11:00 ~ 13:30**  
**14:30 ~ 17:00**

青年・シニア合同

【説明会のお問合せ】 独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 中国センター  
市民参加協力課 ボランティア担当  
TEL: 082-421-6305 jica-jocv@jica.go.jp

詳しい内容はJICA中国HPへ



これからも  
「ひろしま国際プラザ(HIP)」界隈では、

# Event 楽しいことが / 目白押し!

東広島市鏡山三丁目の「ひろしま国際プラザ (HIP)」は、広島県と独立行政法人国際協力機構 (JICA) が平成9年に共同設置した国際交流拠点です。ここには毎年約100ヶ国から1,100人余りの外国人が訪れ、滞在しています。

ひろしま国際センターでは、このHIPで様々な研修を行うとともに、滞在する外国人と地域の皆さんとの交流プログラムをたくさん行っています。

これから来春まで行うプログラムの中からいくつか紹介します。



## 西条酒まつり 「酒みだればやしパレード」

東広島市最大のイベントである酒まつり。その行事の一つ「酒みだればやしパレード」に、HIPに滞在する外国人や留学生が多数参加します。多くの子どもたちと一団となり、小太鼓を叩き、掛け声をあげながら、街なかを練り歩いて、市の内外から集まった大勢の皆さんと交流します。



## 世界まるごと 体験デー

楽しみながら  
国際・  
異文化理解!



HIPで行う最大のイベントです。地域に住む日本人や外国人、お子様から年配の方まで、あらゆる市民の皆様に向けて、世界中の遊びや文化を楽しく体験しながら、国際理解・異文化理解を深めることのできる体験型イベントです。



## クッキング交流会

開発途上国から来日中のJICA研修員と地域の方が、料理を通じて交流を深めるイベントです。研修員が講師となり、



広島では中々お目にかかれない研修員の母国のエスニックな料理を参加者全員で作ります。研修員の母国の紹介もあります。HIPで行います。



## 国際理解講座 「ねえ聞いて! わたしのお国自慢」



開発途上国から来日中のJICA研修員が、地域の皆さんに母国のことを紹介するイベント。日頃なじみがない珍しい国の料理や音楽、習慣などを見て、聞いて、楽しい時間を過ごします。実施場所は未定です。あなたの街かも。



## 子ども英語村



3歳から小学生までの日本人の子どもを対象に、全ての活動を、原則、英語で実施します。英語や海外の文化に関心を持つ子どもたちが、英語で様々なミッションに挑戦し、国際理解の扉を開いていくことができるイベントです。HIPで行います。

# Hello Hiroshima

Vol.102 October 2018



## A Return to Normalcy Daniel Mackey

This year, Hiroshima experienced one of its worst disasters in recent memory. Torrential rains that hit western Japan at the start of July caused extensive flooding and landslides throughout the prefecture as well as in neighboring regions. As a result, many residents who were either unaware or unable to evacuate from at-risk areas lost their lives, and many more still suffered from serious property damage and, in the following days, a lack of basic services such as water and public transportation.

To make matters worse, the damage caused by the torrential rains was compounded by the subsequent record-breaking heat wave, itself declared a national disaster, that struck Japan in the aftermath of the heavy rain and is still ongoing. To all the victims and their families, I would like to express my heartfelt thoughts and condolences.

For me, these events have certainly helped to dispel the myth within my mind that Hiroshima is relatively a safe haven compared to other disaster-prone prefectures. Not that I needed a reminder that nature doesn't play favorites, but you can never really predict with certainty the timing and scope of these kinds of natural calamities.

Like other hardships experienced by the people of Hiroshima

throughout its history, the resilience of locals has no doubt helped to somewhat mitigate the damage done by the disaster and set Hiroshima back on the path to recovery. But there is still likely a long road ahead for those who were hardest hit, not to mention the families of victims who will never see their loved ones again. I pray that recovery is swift and that all those affected may soon return to their normal everyday lives.

On a happier note, Hiroshima recently welcomed 53 new JET participants at the beginning of August, of which 52 are ALTs from various countries and one is a CIR like me but from Mexico! Did you know that Hiroshima Prefecture has a friendship agreement with the State of Guanajuato in Mexico? In particular, Mazda and other important local automotive industry-related businesses are quite active in Guanajuato. And it should also be mentioned that Hiroshima was chosen to host the pre-Olympic training camps for the Mexican Olympic team so do not be surprised if you hear more Spanish being spoken on the streets of Hiroshima.

While the timing of the new JET arrivals may be unfortunate, especially for those residing in areas that suffered the heaviest damage, I hope they can all make a relatively smooth transition to their new living environments and workplaces in Hiroshima. To them, I wish the best of luck and success in what will hopefully be a disaster-free year ahead.

Upcoming



## Event News



### 国際フェスタ2018

「国際フェスタ2018」は、主に広島市内で国際交流・協力活動を続けている市民団体・企業などが中心となって平成12年度から毎年開催しているイベントで、今年で19回目を迎えます。バザーや屋台、体験コーナー、講演会など、様々な国際交流・協力に関する事業を行い、子どもから大人まで楽しみながら外国文化に触れていただける内容となっています。

日 11月18日(日) 時 10:00~16:00

場 広島国際会議場等 費 無料

問 (公財)広島平和文化センター 国際部国際交流・協力課

担当者:門井

TEL:082-242-8879 mail:internat@pcf.city.hiroshima.jp

### 重慶の日/重慶日 (チョンチン・リイ)

広島市の姉妹・友好都市の一つである中国・重慶市を紹介するイベントです。

- 【内容】・烏龍茶の試飲及び中国菓子の試食・セレモニー・重慶市の紹介
- ・記念イベント(太極拳の披露、中国琵琶の演奏)
- ・中国のグッズが当たるお楽しみ抽選会

日 10月20日(土) 時 13:00~15:30

場 広島市留学生会館 費 無料 定 200名

問 (公財)広島平和文化センター 国際部国際交流・協力課

担当者:今村

TEL:082-242-8879 mail:internat@pcf.city.hiroshima.jp

### 海田市イングリッシュサマーキャンプ報告会

8月20日(月)~8月22日(水)に行った海田市イングリッシュサマーキャンプ(英語圏の留学生と交流し、英語活動を通じ異文化体験をする)の報告会を開催します。

日 10月21日(日) 時 13:00~ 場 ひまわりプラザ 4階ホール

問 海田町国際交流協会 国際部国際交流・協力課

担当者:沼 静香

TEL:082-823-7611 mail:koksai@mc13.megaegg.ne.jp

# 広島から世界へ! いつか世界を変える力になる!

広島から世界へ!2018年9月下旬より、  
広島県出身のJICAボランティア6名が世界へ向けて出発します!



## ■現在赴任中の広島県出身 JICAボランティア(名)

区分	男性	女性	合計
青年	18	20	38
シニア	9	1	10
日系青年	1	0	1
日系シニア	0	0	0

2018年7月31日時点

### JICAボランティア <青年海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳~39歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティアです。  
派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、途上国の発展を支援する。そんな現場レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか!?  
40歳~69歳の方を対象とした「シニア海外ボランティア」もあります。

## 帰国隊員レポート ~ベナン共和国篇~

大前 良美さん



### ベナン共和国

西アフリカに位置する共和制国家

【概要】面積：112,622平方キロメートル

人口：約1,087万人

首都：ポルトノボ

公用語：フランス語

宗教：伝統的宗教(65%)、キリスト教(20%)、イスラム教(15%)

### 現地での活動内容

経済の中心都市コトヌーからバスで7時間ほど北西に位置するバシラ村落開発支所で、初代の野菜栽培隊員として派遣されていました。活動は、基本的に村の中で村人と行いました。彼らと同じ立場で活動したいと思っていました。雨季は、現地の人々と畑で農作業を行いました。乾季は雨が降らず農業ができないため、女性の仕事の手伝いや地域住民との関係づくりをしていました。初代隊員ということもあり、1年目は食生活や現地の農業などの把握に力を入れました。2年目からは現状をふまえた上で、栽培手法の改善、空芯菜などの新規野菜の導入やネリカ米の普及を行いました。



▲稲作農家の巡回



▲空芯菜の収穫の様子

### ベナンってこんなところ!

ベナンは、テレビによく登場していたゾマホンさんの生まれ故郷です。多民族国家であり、46もの民族がいると言われてます。ひとくりにベナン人といっても様々な人がいて、関わっていると面白く感じました。インフラはまだ未発達で、よく停電するし、水道はなく井戸から水を汲んでいました。外に出れば、ニワトリ、ヤギやヒツジなどの家畜がウロウロしていました。しかし、スマートフォンや携帯電話は普及しており、なんだか不思議な状況でした。家族を大切に、私のような外国人にも暖かく接してくれました。世界的に見れば貧しいかもしれませんが、それでも彼らの心は豊かだったと思っています。



▲現地の人と一緒に農作業

### ベナンの食事

ベナン人が一番好きなもので普段から食べられている料理といえば、パット。トウモロコシの粉をお湯で練ったものです。それを辛いソースにつけて食べます。ソースは、トマトソース、オクラソース、モロヘイヤソースなど数種類あり、それに肉や魚を添えて食べます。ベナン人は辛いのが大好きで、トウガラシは彼らの料理には欠かせないものです。お祝いの時に食べるのが、イニャムピレ。イニャムはヤムイモ、ピレはつぶすという意味です。蒸かしたヤムイモを杵と臼のようなものでつぶします。その他、お米やキャッサバなども食べられています。



▲パット

▼イニャムピレ



### おまへ よしみ 大前 良美さん プロフィール

- ・広島市南区出身。
- ・県立広島大学を卒業後、2015年10月より、ベナン共和国バシラ市にて野菜栽培隊員として活動する。現在は就職し、農業に携わる仕事を行う。

### 参加のきっかけ

高校生の頃に、ある学生国際協力団体の方のお話を聞き、自分も海外で活躍してみたいという思いを持ちました。大学生になってから、海外での短期ボランティアに数回参加してみましたが、長期でないと現地の人々のことを理解することができな感じました。そのため、長期でボランティアができる青年海外協力隊を選びました。

### 参加して思うこと

まずは、アフリカの現場で活動できたということが一番の収穫ではないかと思えます。楽しかったことも、苦しかったことも全て含めて、貴重な経験でした。そして、視野がより広がったと感じています。世界には様々な状況があり、様々な人がいるということを実際に知ることができたからだと考えます。また、自分のことを素直に受け入れることができるようになりました。他人と比べるのではなく、自分に得手不得手があることを理解し、自分ができることを地道にやっっていけばよいと考えるようになりました。本当に様々な人に感謝しています。

# 「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

HIC article: チンケン 陳 妍さん(中国)

中国からの留学生陳妍で、2017年10月からHIPに住んで一年間になります。9月に卒業しますので、HIPから離れます。この機会を利用して、HIPで住む経験とみなさんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。

HIPでの一日を想像してください。朝七時に起きて、一階のコーヒー機で美味しいコーヒーを一杯飲みます。HIPのカフェテリアで朝ご飯を食べていい一日を始めます。自分の部屋で荷物を片付けて8:10とか8:30のJICA無料バスに乗って学校に着きます。夕方6:20のJICA無料バスに乗ってHIPに戻ります。ホールに入ると、小型コンサートや日本文化の茶道イベントを行っています。おながが空いてHIPカフェテリアで満腹できるビュッフェ、毎週交換するメニューを試されます。夕方には、ジムに行くことができ、その中の機器を使って運動することができます。みなさんの住んでいる場所に近いです、ジムで運動を続けることが簡単です。勉強の後、GRPの友達と2階に行ってDVDを借りて映画を見たり、ビリヤードをプレイしたりすることもできます。お菓子を食いたいなら、1階にはセルフサービスのアイスクリーム自動販売機があり、いつでもそれを解決することができます。これは実際に想像されていない、これはHIPの私の本当の日常生活です。HIPの完全な施設と

豊かな文化体験は私の海外留学を色鮮やかにします。

これらのインフラや文化活動だけでなく、HICスタッフが熱心に働いてGRP居住者間のところをつなげてかけ橋を作っています。GRPは毎月定期的に会合を開き、遭遇した問題に対処します。この過程で、我々はまた、学習と生活における彼らの最近の問題についてお互いに話しました。また、GRPのみなさんは多くの国から来ている留学生のため、国の料理を巡ってパーティーを開催し、他の国の文化についても学びます。したがって、GRPは良好な関係を築いています。住む契約期間が満了したり、卒業したりしてHIPからはなれるとしても、HIPで住んでいるみなさんは永遠に友人になっており、引き続き連絡しています。HIPで住んでいるみなさんの友情、一緒に過ごした時間、いい思い出は全員に与えられたHIPのプレゼントと思います。

HIPで住んでいるのは非常に満足しており、すべてが住民のために設計されている施設、スタッフの配置はとても素晴らしいと思います。私は卒業するので中国に帰国しようとしています。私はこの機会にHIPで会った皆さんに感謝し、みなさんとの友情を持ってもっと遠くへ行きたいと思います。私はHIPがより良くなると信じています。



グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的とした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、7ヶ国13人の留学生が参加しています。  
そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2人が入居し、彼らを支援しています。  
★入居使用料  
1泊770円 管理費2,500円/月  
月額24,060円~26,370円(水道光熱費込み)  
★現在、今年秋からの入居者を募集中です。詳しくはひろしま国際プラザのHPをご覧ください

## PR動画作成企業募集中!!

～企業の紹介動画を作成して自社の魅力を発信しませんか?～



広島県留學生生活支援センター（以下「支援センター」）では、留學生の採用意向がある企業の皆様に、自社をPRする動画を作成していただき、当支援センターのYouTube登録チャンネルに当該動画を掲載し、就活中の留學生に周知することで、県内企業への就職者の増加につなげていただければと考えております。皆様のご応募お待ちしております。



詳細はこちらから ▶▶ <https://goo.gl/2Em6RM>

## 広島留學動画コンテスト

広島に留學を考えている人、留學を始めたばかりの人へ 開催!  
広島での生活に役立つ情報や、広島留學の魅力について発信してみませんか?

- テーマ
  - ・広島に留學を始めて困ったことやその解決方法
  - ・留學生のキャンパスライフ ・広島生活の魅力
  - ・これから広島に留學する人へのメッセージ など
- 応募方法
  - ①CD-RまたはDVD-Rで提出 ②YouTubeまたはweiboに投稿
  - ※①、②どちらかの方法で応募してください。
- 応募締切
  - 平成30年12月28日(金)
- 表彰
  - 最優秀賞 (1作品) 優秀賞 (1作品) 佳作 (5作品)
  - 5万円 3万円 1万円



詳しくはこちら→<https://goo.gl/nt9Tem> 皆様のご応募お待ちしております!!

### 交流部&留學生生活支援センター

〒730-0037  
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F  
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001  
E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間  
月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00  
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



### 研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046  
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内  
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751  
E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間  
(情報センター・図書室・NGO交流室) ※情報センター・図書室は平日  
12:30～13:30閉館です。臨時  
月～土 10:30～19:00※ に関所する場合は、HPで随時お  
知らせします。  
日・祝日および年末年始はお休みです。

